

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-261937

(43)Date of publication of application : 24.09.1999

(51)Int.Cl. H04N 5/765
G06T 1/00
H04N 5/781

(21)Application number : 10-061239 (71)Applicant : CANON INC
(22)Date of filing : 12.03.1998 (72)Inventor : AOI SHIGERU
YAMAGAMI MIGAKU

(54) PICTURE PROCESSOR, ITS DEVICE, PICTURE FILE FORMAT AND RECORDING MEDIUM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enhance the speed of data arrangement and program processing by including in the name of a file the letters showing the constitution of a group, letters, distinguishing from another group and letters showing the file number when plural data make one group.

SOLUTION: The name of a file consists of eight letters of alphanumerics and three letter of external identifiers so as to be operated on DOS. The three letters of the head of the name of a file are 'IMG' in the case of single photographing, two letters of the head are 'ST' from the stitching operation of a following picture in the case of panoramic photographing and one letter following it is constituted of a letter 'A', 'B',... extracted one by one from the head of an alphabetical array. A file number 'curr File No' with five figures to be incremented one by one at each photographing is added. Respective files are arranged in another directory by every other file number of 50. The name of a file for storing a picture is constituted of information specifying a picture and information distinguishing a group of pictures consisting of plural pictures and a single picture from each other like this.

ディレクトリ名	ファイル名	組	位置
CTG_0088.CTG		
	IMG_3432.JPG	単	
	IMG_3433.JPG	単	
	IMG_3434.JPG	単	
	STA_3435.JPG	1	右上
	STB_3436.JPG	1	右下
	STC_3437.JPG	1	左下
	STD_3438.JPG	1	左上
	IMG_3439.JPG	単	
	IMG_3440.JPG	単	
	STA_3441.JPG	2	左端
	STB_3442.JPG	2	左から2番目
	STA_3443.JPG	3	右端
	STB_3444.JPG	3	右から2番目
	STC_3445.JPG	3	右から3番目
	IMG_3446.JPG	単	
	IMG_3447.JPG	単	
	IMG_3448.JPG	単	
	IMG_3449.JPG	単	
	STA_3450.JPG	4	上端
CTG_0089.CTG		
	STB_3451.JPG	4	上から2番目
	IMG_3452.JPG	単	
	IMG_3453.JPG	単	
	IMG_3454.JPG	単	
	IMG_3455.JPG	単	
		

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 11.11.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 16.05.2006

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection] 2006-12464

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 15.06.2006

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-261937

(43) 公開日 平成11年(1999) 9月24日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

H 0 4 N 5/765

H 0 4 N 5/91

L

G 0 6 T 1/00

C 0 6 F 15/62

P

H 0 4 N 5/781

H 0 4 N 5/781

5 1 0 L

審査請求 未請求 請求項の数19 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号 特願平10-61239

(22) 出願日 平成10年(1998) 3月12日

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 青井 茂

東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノン株式会社内

(72) 発明者 山上 琢

東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノン株式会社内

(74) 代理人 弁理士 丸島 儀一

(54) 【発明の名称】 画像処理装置およびその方法、画像ファイルフォーマット、記憶媒体

(57) 【要約】

【課題】 パノラマ画像等の複数枚の組として記録された画像のファイル操作を容易にする。

【解決手段】 記録する画像のファイル名として、組に属することを示す文字 (ST) と、各組の中で順番に付けた英字文字と、撮影順のファイル番号を示す文字を用い、ファイル名の拡張子としては、画像圧縮方法を示す文字を用いる。

ディレクトリ名	ファイル名	組	位置
CTG_0068. CTG		
	IMG_3432. JPG	単	
	IMG_3433. JPG	単	
	IMG_3434. JPG	単	
	STA_3435. JPG	1	右上
	STB_3436. JPG	1	右下
	STC_3437. JPG	1	左下
	STD_3438. JPG	1	左上
	IMG_3439. JPG	単	
	IMG_3440. JPG	単	
	STA_3441. JPG	2	左端
	STB_3442. JPG	2	左から2番目
	STA_3443. JPG	3	右端
	STB_3444. JPG	3	右から2番目
	STC_3445. JPG	3	右から3番目
	IMG_3446. JPG	単	
	IMG_3447. JPG	単	
	IMG_3448. JPG	単	
	IMG_3449. JPG	単	
	STA_3450. JPG	4	上端
CTG_0069. CTG			
	STB_3451. JPG	4	上から2番目
	IMG_3452. JPG	単	
	IMG_3453. JPG	単	
	IMG_3454. JPG	単	
	IMG_3455. JPG	単	
		

【特許請求の範囲】

【請求項1】 画像を記憶するファイル名として、画像を特定する情報と複数の画像で構成される一組の画像と単独の画像とを区別する情報から構成されることを特徴とする画像ファイルフォーマット。

【請求項2】 画像を特定する情報を付与する第1の付与手段と、複数の画像で構成される一組の画像に対して組を構成することを示す情報を付与する第2の付与手段と、前記第1の付与手段と第2の付与手段により付与された情報を画像のファイル名として記憶する記憶手段と、を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項3】 画像を入力する入力手段を有することを特徴とする請求項2に記載の画像処理装置。

【請求項4】 画像の入力モードを設定するモード設定手段と、前記モード設定手段により設定された入力モードに応じて前記第2の付与手段を制御する制御手段とを有することを特徴とする請求項3に記載の画像処理装置。

【請求項5】 前記第2の付与手段は、組を構成することを示す情報を画像の入力順に付与することを特徴とする請求項3に記載の画像処理装置。

【請求項6】 前記画像を特定する情報は、シーケンシャルなファイル番号であることを特徴とする請求項2に記載の画像処理装置。

【請求項7】 前記第2の付与手段は、組を構成する画像の位置情報を含むことを特徴とする請求項3に記載の画像処理装置。

【請求項8】 画像を特定する情報を付与する第1の付与工程と、複数の画像で構成される一組の画像に対して組を構成することを示す情報を付与する第2の付与工程と、前記第1の付与工程と第2の付与工程により付与された情報を画像のファイル名として記憶する記憶工程と、を有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項9】 画像を入力する入力工程を有することを特徴とする請求項8に記載の画像処理方法。

【請求項10】 画像の入力モードを設定するモード設定工程と、前記モード設定工程により設定された入力モードに応じて前記第2の付与工程を制御する制御工程と、を有することを特徴とする請求項9に記載の画像処理方法。

【請求項11】 前記第2の付与工程は、組を構成することを示す情報を画像の入力順に付与することを特徴とする請求項9に記載の画像処理方法。

【請求項12】 前記画像を特定する情報は、シーケンシャルなファイル番号であることを特徴とする請求項8に記載の画像処理方法。

【請求項13】 前記第2の付与工程は、組を構成する画像の位置情報を含むことを特徴とする請求項9に記載の画像処理方法。

【請求項14】 画像を特定する情報を付与する第1の

付与工程のプログラムコードと、複数の画像で構成される一組の画像に対して組を構成することを示す情報を付与する第2の付与工程のプログラムコードと、前記第1の付与工程と第2の付与工程により付与された情報を画像のファイル名として記憶する記憶工程のプログラムコードと、を有することを特徴とする記憶媒体。

【請求項15】 画像を入力する入力工程のプログラムコードを有することを特徴とする請求項14に記載の記憶媒体。

【請求項16】 画像の入力モードを設定するモード設定工程のプログラムコードと、前記設定された入力モードに応じて前記第2の付与工程のプログラムコードを制御する制御工程のプログラムコードと、を有することを特徴とする請求項15に記載の記憶媒体。

【請求項17】 前記第2の付与工程のプログラムコードは、組を構成することを示す情報を画像の入力順に付与することを特徴とする請求項15に記載の記憶媒体。

【請求項18】 前記画像を特定する情報は、シーケンシャルなファイル番号であることを特徴とする請求項14に記載の記憶媒体。

【請求項19】 前記第2の付与工程のプログラムコードは、組を構成する画像の位置情報を含むことを特徴とする請求項15に記載の記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、撮影した画像をデジタル画像として記録し、記録したデジタル画像を再生する画像処理装置及びその方法、画像ファイルフォーマット、記憶媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、画像信号をデジタル信号に変換して半導体メモ리카ードや小型のハードディスクなどのPCMCIA記録媒体に記録するデジタル電子スチルカメラが開発されている。上記デジタル記録媒体はパーソナルコンピュータでデータを読むことができるように構成されている。

【0003】このようなデジタル電子スチルカメラが発生する画像データの従来の技術としては、JEIDA（日本電子工業振興協会）発行の“デジタルスチルカメラ用ICメモ리카ードラインDSC68ピン規格”に記載されているフォーマットがある。

【0004】この規格においては、PCMCIA記録媒体は、MS-DOS互換のブロックデバイスとして利用され、画像ファイル、音声ファイルは媒体上にファイルとして記録される。また、画像に関連する付帯情報、例えば撮影年月日、撮影モード、撮影条件などは個々のファイルの中に記録される。

【0005】そして、この媒体に記録された画像情報や音声ファイルをパーソナルコンピュータ上で再生しようとする場合、DOSの機能を用いて、例えば特定のサブ

ディレクトリに存在するファイルの情報を一覧してコンピュータスクリーンに表示して、再生すべきファイルをユーザーに選ばせることができるようにしている。

【0006】ただし、この場合、DOSが理解できる情報はファイルネームやファイル作成年月日やファイルサイズなどに限られる。すなわち、これらの情報は、DOSのディレクトリ構成規約に従って媒体上の連続領域に記録されているため、比較的高速に復元することができる。そして、ファイル作成年月日を撮影年月日と一致させることで、よりユーザーのわかりやすい情報の提示も可能になる。

【0007】このようなファイル管理において、連写により撮影した複数の画像が一組として識別できるように記録する方法として、特開平5-252474号公報や特開平6-233225号公報には、連写で撮影したことを示す文字と、連写の組毎に付ける番号と、連写時の連続番号とをファイル名に含めて画像を記録することが開示されている。

【0008】また、画像データのファイル管理システムとして、本出願人は、特願平8-273494にて、同一の撮影装置を用いる限りにおいては、重複しないで、順番にファイル番号がファイル名に付されるシステムを提案している。

【0009】図15に、このファイル管理システムに従ったファイル名の例を示す。ファイル名の頭の3文字は“IMG”、次の5文字には撮影する毎に1つつ増していく5桁の数字によるファイル番号currFileNoが付けられる。このファイル番号currFileNoはカメラ内に保存されている。

【0010】記録媒体が入れ替えられた時には、新しく装着された記録媒体に記録されているファイルのファイル名に付けられているファイル番号のうち最大のもののFileNoFoundと、カメラ内に保存されているファイル番号とを比較して、currFileNo > FileNoFound の場合はcurrFileNoをそのまま使い、そうでない場合は、FileNoFound+1を新しくcurrFileNoとしてカメラに保存して使用する。

【0011】ここでは、5桁数字の内、最上位の値が“0”の場合には、見やすいように“-”で置き換えている。拡張子の3文字は、JPEG圧縮された画像ファイルであるので、“.JPG”が付けられている。各ファイルは、検索のしやすいように、ファイル番号が50毎に別のディレクトリに整理される。ここでは、ファイル番号が3332から3350までのファイルは“CTG_0066.CTG”のディレクトリに、ファイル番号が3351から3400までのファイルは“CTG_0067.CTG”のディレクトリに整理されている。

【0012】パノラマモードで撮影した場合の画像構成を図15に示す。図15に示していない画像は、単独撮影であるが、ファイル名からは、パノラマモードである

か否かは判断できない。パノラマを構成する位置に関する情報は、ファイル内に記録されている。

【0013】

【発明が解決しようとする課題】上述したように、従来の技術は、連続撮影の組と単独撮影とではファイル名の体系が異なっているものや、組が判別できないファイル名になっており、ファイル名だけでは組としての撮影と単独撮影の撮影順序の区別ができないという問題が生じた。

【0014】本発明は上述の問題点を鑑み、記録媒体に記録されている画像に関係する情報をユーザに高速に表示できるようにすることを目的とする。

【0015】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明は、画像を記憶するファイル名として、画像を特定する情報と複数の画像で構成される一組の画像と単独の画像とを区別する情報から構成されることを特徴とする画像ファイルフォーマットを提供する。

【0016】上記課題を解決するために、本発明は、画像を特定する情報を付与する第1の付与手段と、複数の画像で構成される一組の画像に対して組を構成することを示す情報を付与する第2の付与手段と、前記第1の付与手段と第2の付与手段により付与された情報を画像のファイル名として記憶する記憶手段とを有することを特徴とする画像処理装置を提供する。

【0017】上記課題を解決するために、本発明は、画像を特定する情報を付与する第1の付与工程と、複数の画像で構成される一組の画像に対して組を構成することを示す情報を付与する第2の付与工程と、前記第1の付与工程と第2の付与工程により付与された情報を画像のファイル名として記憶する記憶工程とを有することを特徴とする画像処理方法を提供する。

【0018】上記課題を解決するために、本発明は、画像を特定する情報を付与する第1の付与工程のプログラムコードと、複数の画像で構成される一組の画像に対して組を構成することを示す情報を付与する第2の付与工程のプログラムコードと、前記第1の付与工程と第2の付与工程により付与された情報を画像のファイル名として記憶する記憶工程のプログラムコードとを有することを特徴とする記憶媒体を提供する。

【0019】

【発明の実施の形態】(第1の実施形態)図1はデジタルカメラ101を背面から見たときの、操作部と表示部を示す図である。

【0020】図1において、102はリリース動作を起動するリリースボタン、103は光学ファインダー、104は撮影枚数等のカメラの状態を表示するLCD、105は電子ビューファインダーとカメラの状態を示す表示とを兼用するLCD、106はカメラのモードを選択するモードダイヤルで、カメラの電源のオンとオフ、通

常撮影モード、パノラマ撮影モード、画像再生表示モードを選択出来るモード選択手段である。

【0021】107、108、109、110はモードの細部を設定する場合にLCDと連動して使用するボタンで、モードダイヤル106でパノラマ撮影モードが選択された場合には、これらのボタンとLCD表示を使って、後に示すような2×2モード、横一列モード、縦一列モードを選択する。また、横一列モードが選択された場合には、さらに右から順番に撮影するか、あるいは左から撮影するかを選択を行う。また、縦一列モードが選択された場合には上から下の順番に撮影するか、あるいは下から上の順番に撮影するかの撮影方向の選択を行なう。

【0022】各モードで一組の画像の撮影を終了すると、107のSETボタンで終了する。111は記録媒体収納部の蓋。デジタルカメラ101は、カメラ全体の制御を内部のマイクロコンピュータで行なっており、以下のファイル制御も同様に制御される。

【0023】図2はモードダイヤル106でパノラマモードを選択したときに、ビューファインダー105に表示される画面である。

【0024】図17は、本発明の実施形態の構成を示す図である。

【0025】図17において、100は図1に示すデジタルカメラ101のブロック構成図である。

【0026】10は撮影レンズ、12は絞り機能を備えるシャッター、14は光学像を電気信号に変換する撮像素子、16は撮像素子14のアナログ信号出力をデジタル信号に変換するA/D変換器である。

【0027】18は撮像素子14、A/D変換器16、D/A変換器26にクロック信号や制御信号を供給するタイミング発生回路であり、メモリ制御回路22及びシステム制御回路50により制御される。

【0028】20は画像処理回路であり、A/D変換器16からのデータ或いはメモリ制御回路22からのデータに対して所定の画素補完処理や色変換処理を行う。

【0029】また、画像処理回路20においては、撮像した画像データを用いて所定の演算処理を行い、得られた演算結果に基づいてシステム制御回路50が露光制御手段40、測距制御手段42に対して制御を行う、TTL（スルー・ザ・レンズ）方式のAF（オートフォーカス）処理、AE（自動露出）処理、EF（フラッシュアップ発光）処理を行っている。

【0030】さらに、画像処理回路20においては、撮像した画像データを用いて所定の演算処理を行い、得られた演算結果に基づいてTTL方式のAWB（オートホワイトバランス）処理も行っている。

【0031】22はメモリ制御回路であり、A/D変換器16、タイミング発生回路18、画像処理回路20、画像表示メモリ24、D/A変換器26、メモリ30、

圧縮・伸長回路32を制御する。

【0032】A/D変換器16のデータが画像処理回路20、メモリ制御回路22を介して、或いはA/D変換器16のデータが直接メモリ制御回路22を介して、画像表示メモリ24或いはメモリ30に書き込まれる。

【0033】24は画像表示メモリ、26はD/A変換器、28はTFT LCD等から成る画像表示部であり、画像表示メモリ24に書き込まれた表示用の画像データはD/A変換器26を介して画像表示部28により表示される。

【0034】画像表示部28を用いて撮像した画像データを逐次表示すれば、電子ファインダー機能を実現することが可能である。

【0035】また、画像表示部28は、システム制御回路50の指示により任意に表示をON/OFFすることが可能であり、表示をOFFにした場合には画像処理装置100の電力消費を大幅に低減することが出来る。

【0036】30は撮影した静止画像や動画像を格納するためのメモリであり、所定枚数の静止画像や所定時間の動画像を格納するのに十分な記憶量を備えている。

【0037】これにより、複数枚の静止画像を連続して撮影する連写撮影やパノラマ撮影の場合にも、高速かつ大量の画像書き込みをメモリ30に対して行うことが可能となる。

【0038】また、メモリ30はシステム制御回路50の作業領域としても使用することが可能である。

【0039】32は適応離散コサイン変換（ADCT）等により画像データを圧縮伸長する圧縮・伸長回路であり、メモリ30に格納された画像を読み込んで圧縮処理或いは伸長処理を行い、処理を終えたデータをメモリ30に書き込む。

【0040】40は絞り機能を備えるシャッター12を制御する露光制御手段であり、フラッシュ48と連携することによりフラッシュ調光機能も有するものである。

【0041】42は撮影レンズ10のフォーカシングを制御する測距制御手段、44は撮影レンズ10のズームを制御するズーム制御手段、46はバリアである保護手段9の動作を制御するバリア制御手段である。

【0042】48はフラッシュであり、AF補助光の投光機能、フラッシュ調光機能も有する。

【0043】露光制御手段40、測距制御手段42はTTL方式を用いて制御されており、撮像した画像データを画像処理回路20によって演算した演算結果に基づき、システム制御回路50が露光制御手段40、測距制御手段42に対して制御を行う。

【0044】50は画像処理装置100全体を制御するシステム制御回路、52はシステム制御回路50の動作の定数、変数、プログラム等を記憶するメモリである。

【0045】54はシステム制御回路50でのプログラ

ムの実行に応じて、文字、画像、音声等を用いて動作状態やメッセージ等を表示する液晶表示装置、スピーカー等の表示部であり、画像処理装置100の操作部近辺の視認しやすい位置に単数或いは複数個所設置され、例えばLCDやLED、発音素子等の組み合わせにより構成されている。

【0046】また、表示部54は、その一部の機能が光学ファインダー33内に設置されている。

【0047】表示部54の表示内容のうち、LED等に表示するものとしては、例えば、シングルショット/連写撮影表示、セルフタイマー表示、圧縮率表示、記録画素数表示、記録枚数表示、残撮影可能枚数表示、シャッタースピード表示、絞り値表示、露出補正表示、フラッシュ表示、赤目緩和表示、マクロ撮影表示、ブザー設定表示、時計用電池残量表示、電池残量表示、エラー表示、複数桁の数字による情報表示、記録媒体200及び210の着脱状態表示、通信I/F動作表示、日付け・時刻表示、外部コンピュータとの接続状態を示す表示、等がある。

【0048】また、表示部54の表示内容のうち、光学ファインダー33内に表示するものとしては、例えば、合焦表示、撮影準備完了表示、手振れ警告表示、フラッシュ充電表示、フラッシュ充電完了表示、シャッタースピード表示、絞り値表示、露出補正表示、記録媒体書き込み動作表示、等がある。

【0049】さらに、表示部54の表示内容のうち、LED等に表示するものとしては、例えば、合焦表示、撮影準備完了表示、手振れ警告表示、フラッシュ充電表示、フラッシュ充電完了表示、記録媒体書き込み動作表示、マクロ撮影設定通知表示、二次電池充電状態表示、等がある。

【0050】そして、表示部54の表示内容のうち、フラッシュ等に表示するものとしては、例えば、セルフタイマー通知ランプ、等がある。このセルフタイマー通知ランプは、AF補助光と共用して用いても良い。

【0051】56は電氣的に消去・記録可能な不揮発性メモリであり、例えばEEPROM等が用いられる。

【0052】60、62、64、66、68、70及び72は、システム制御回路50の各種の動作指示を入力するための操作手段であり、スイッチやダイヤル、タッチパネル、視線検知によるポインティング、音声認識装置等の単数或いは複数の組み合わせで構成される。

【0053】ここで、これらの操作手段の具体的な説明を行う。

【0054】60はモードダイヤルスイッチで、電源オフ、自動撮影モード、撮影モード、パノラマ撮影モード、再生モード、マルチ画面再生・消去モード、PC接続モード等の各機能モードを切り替え設定することが出来る。

【0055】62はシャッタースwitch SW1で、不図

示のシャッターボタンの操作途中でONとなり、AF（オートフォーカス）処理、AE（自動露出）処理、AWB（オートホワイトバランス）処理、EF（フラッシュプリ発光）処理等の動作開始を指示する。

【0056】64はシャッタースwitch SW2で、不図示のシャッターボタンの操作完了でONとなり、撮像素子12から読み出した信号をA/D変換器16、メモリ制御回路22を介してメモリ30に画像データを書き込む露光処理、画像処理回路20やメモリ制御回路22での演算を用いた現像処理、メモリ30から画像データを読み出し、圧縮・伸長回路32で圧縮を行い、記録媒体200或いは210に画像データを書き込む記録処理という一連の処理の動作開始を指示する。

【0057】66は画像表示ON/OFFスイッチで、画像表示部28のON/OFFを設定することが出来る。

【0058】この機能により、光学ファインダー33を用いて撮影を行う際に、TFT LCD等から成る画像表示部への電流供給を遮断することにより、省電力を図ることが可能となる。

【0059】68はクイックレビューON/OFFスイッチで、撮影直後に撮影した画像データを自動再生するクイックレビュー機能を設定する。なお、本実施例では特に、画像表示部28をOFFとした場合におけるクイックレビュー機能の設定をする機能を備えるものとする。

【0060】70は各種ボタンやタッチパネル等からなる操作部で、メニューボタン、セットボタン、マクロボタン、マルチ画面再生改ページボタン、フラッシュ設定ボタン、単写/連写/セルフタイマー切り替えボタン、メニュー移動+（プラス）ボタン、メニュー移動-（マイナス）ボタン、再生画像移動+（プラス）ボタン、再生画像-（マイナス）ボタン、撮影画質選択ボタン、露出補正ボタン、日付/時間設定ボタン等がある。

【0061】72は圧縮モードスイッチで、JPEG圧縮の圧縮率を選択するため、或いは撮像素子の信号をそのままデジタル化して記録媒体に記録するCCDRAWモードを選択するためのスイッチである。

【0062】JPEG圧縮のモードは、例えばノーマルモードとファインモードが用意されている。

【0063】JPEG圧縮のモードに於いては、撮像素子14から読み出されてA/D変換器16、画像処理回路20、メモリ制御回路22を介して、メモリ30に書き込まれた画像データを読み出し、圧縮・伸長回路32により設定した圧縮率に圧縮を行った後、記録媒体200或いは210に記録を行う。

【0064】CCDRAWモードでは、撮像素子14の色フィルタの画素配列に応じて、ライン毎にそのまま画像データを読み出して、A/D変換器16、メモリ制御回路22を介して、メモリ30に書き込まれた画像デー

タを読み出し、記録媒体200或いは210に記録を行う。

【0065】80は電源制御手段で、電池検出回路、DC-DCコンバータ、通電するブロックを切り替えるスイッチ回路等により構成されており、電池の装着の有無、電池の種類、電池残量の検出を行い、検出結果及びシステム制御回路50の指示に基づいてDC-DCコンバータを制御し、必要な電圧を必要な期間、記録媒体を含む各部へ供給する。

【0066】82はコネクタ、84はコネクタ、86はアルカリ電池やリチウム電池等の一次電池やNiCd電池やNiMH電池、Li電池等の二次電池、ACアダプター等からなる電源手段である。

【0067】90及び94はメモ리카ードやハードディスク等の記録媒体とのインタフェース、92及び96はメモ리카ードやハードディスク等の記録媒体と接続を行うコネクタ、98はコネクタ92及び或いは96に記録媒体200或いは210が装着されているか否かを検知する記録媒体着脱検知手段である。

【0068】なお、本実施形態では記録媒体を取り付けるインターフェース及びコネクタを2系統持つものとして説明している。もちろん、記録媒体を取り付けるインターフェース及びコネクタは、単数或いは複数、いずれの系統数を備える抗生としても構わない。また、異なる規格のインターフェース及びコネクタを組み合わせて備える構成としても構わない。インターフェース及びコネクタとしては、PCMCIAカードやCF（コンパクトフラッシュ）カード等の規格に準拠したものを用いて構成して構わない。

【0069】さらに、インタフェース90及び94、そしてコネクタ92及び96をPCMCIAカードやCF（コンパクトフラッシュ）カード等の規格に準拠したものをを用いて構成した場合、LANカードやモデムカード、USBカード、IEEE1394カード、P1284カード、SCSIカード、PHS等の通信カード、等の各種通信カードを接続することにより、他のコンピュータやプリンタ等の周辺機器との間で画像データや画像データに付属した管理情報を転送し合うことが出来る。

【0070】102は、画像処理装置100のレンズ10を含む撮像部を覆う事により、撮像部の汚れや破損を防止するバリアである保護手段である。

【0071】33は光学ファインダであり、画像表示部28による電子ファインダー機能を使用すること無しに、光学ファインダーのみを用いて撮影を行うことが可能である。また、光学ファインダー33内には、表示部54の一部の機能、例えば、合焦表示、手振れ警告表示、フラッシュ充電表示、シャッタースピード表示、絞り値表示、露出補正表示などが設置されている。

【0072】57は通信手段で、RS232CやUSB、IEEE1394、P1284、SCSI、モデ

ム、LAN、無線通信、等の各種通信機能を有する。

【0073】112は通信手段110により画像処理装置100を他の機器と接続するコネクタ或いは無線通信の場合はアンテナである。

【0074】200はメモ리카ードやハードディスク等の記録媒体である。

【0075】記録媒体200は、半導体メモリや磁気ディスク等から構成される記録部202、画像処理装置100とのインタフェース204、画像処理装置100と接続を行うコネクタ206を備えている。

【0076】210はメモ리카ードやハードディスク等の記録媒体である。

【0077】記録媒体210は、半導体メモリや磁気ディスク等から構成される記録部212、画像処理装置100とのインタフェース214、画像処理装置100と接続を行うコネクタ216を備えている。

【0078】図2(A)は、パノラマモードの詳細を選択する画面で、モードダイヤル106でパノラマモードを選択した直後、あるいは、2×2モード、横一列モード、縦一列モードのうち一つのモードでの撮影が終了したときに表示される。201、202、203は、夫々2×2モード、横一列モード、縦一列モードを示すアイコンで、110の〔+〕ボタンを押す毎に204の選択枠カーソルが移動する。好みのモードで、107の〔SET〕ボタンで選択指定する。

【0079】図2(B)は、2×2モードで撮影している途中の画面で、右上の一枚を撮影後、右下の画像をこれから撮影するところである。右上205に撮影済みの画像が表示され、右下206には、これから撮影する画像がビューファインダーとして表示される。これから撮影する画像は、〔+〕ボタン110を押すことによって、4つの内から次々に選択でき、その場所がビューファインダーとして表示される。

【0080】4枚の画像の撮影が終わったら、〔SET〕ボタン107を押して、4枚組の撮影が終了し、画像は図2(A)にもどる。〔SET〕ボタン107を押す前であれば、夫々の画像の撮り直しも出来る。撮り直しでは、画像ファイル名は、撮り直す前のファイル名のままで、画像データが、撮り直したものにに入れ替わり保存される。

【0081】図3は、第一の実施形態のファイル名を示す図である。

【0082】DOSで扱えるように、ファイル名は、英数字8文字と、拡張子3文字とから構成される。ファイル名の頭の3文字は、単独撮影の場合は“IMG”，パノラマ撮影の場合は頭の2文字を後の画像の縫合せ(stitch)作業から“ST”，それに続く1文字はアルファベットの文字配列の頭から一文字ずつ抽出した文字“A”，“B”，“C”，…で構成する。このため、一組のファイル数の最大は26で、これを超えた構成が指示されて

も、受け付けない。

【0083】ファイル名の次の5文字は、前記従来例に記載の特願平8-273494のファイル番号と同じように決められる。撮影する毎に1つずつ増していく5桁の数字によるファイル番号currFileNoが付けられる。ファイル番号currFileNoはカメラ内に保存されている。記録媒体が入れ替えられた時には、新しく装着された記録媒体に記録されているファイルのファイル名に付けられているファイル番号のうち最大のものをFileNoFoundと、カメラ内に保存されているファイル番号とを比較して、currFileNo > FileNoFound の場合はcurrFileNoをそのまま使い、そうでない場合は、FileNoFound+1を新しくcurrFileNoとしてカメラに保存して使用する。ここでは、5桁数字の内、最上位の値が“0”の場合には、見やすいように“-”で置き換えている。拡張子の3文字は、JPEG圧縮された画像ファイルであるので、“.JPG”が付けられている。

【0084】各ファイルは、検索のしやすいように、ファイル番号が50毎に別のディレクトリに整理される。ここでは、ファイル番号が3401から3450までのファイルは“CTG_0068.CTG”のディレクトリに、ファイル番号が3451から3500までのファイルは“CTG_0069.CTG”のディレクトリに整理されている。

【0085】図4は、図3に対応したパノラマ画像の構成を示す図である。

【0086】図4(A)は、2×2のパノラマモードの画像構成で、“STA_3435.JPG”から“STD_3438.JPG”までの4枚の画像ファイルに対応している。図4(B)は、横一列のパノラマモードの画像構成で、“STA_3441.JPG”と“STD_3442.JPG”の2枚の画像が、左から順番に撮影された場合を示す。図4(C)は、引き続き横一列のパノラマモードの画像構成であるが、撮影時には、4(B)の撮影が終了し、206のセットボタンを押して組の撮影の終了を指示した後に、モードダイヤルは以前のパノラマモードのままで、2×2モード、横一列モード、縦一列モードから横一列モードを選択して、さらに撮影方向を選択した後に撮影される。

【0087】“STA_3443.JPG”から“STD_3445.JPG”までの3枚が、ここでは、右から順番に撮影された場合を示している。図4(D)は、縦一列のパノラマモードの画像構成で、“STA_3450.JPG”と“STD_3451.JPG”の2枚の画像が、上から下に順番に撮影されたもので、ファイル番号が50毎にディレクトリを変えろという規則に従って、上下の二枚が夫々別のディレクトリに整理されている。

【0088】位置に関する情報は、ここではファイル名には反映されていなくて、ファイル内に記録されている。

【0089】図5は、第一の実施形態のファイル名を付与するときのフローチャート図である。撮影の前には、

モードダイヤルと細部設定ボタンで撮影モードと細部の設定が指示される。パノラマモードで、2×2モード、横一列モード、縦一列モードのいずれかが選択される度に、パノラマの組内で付ける番号STNoに“1”をセットする。また、ファイル番号currFileNoは、カメラ出荷時に“1”にセットされている。リリースボタン102で撮影の後、画像処理を行い、保存データが確定した後、このフローに従ってファイル名を定めて画像データを記録媒体に保存する。

【0090】上述の一連の処理を、以下、フローチャートに従って説明する。

【0091】ステップS51では、現在のモードがパノラマモードに設定されているか否かが判断される。ステップS51で、パノラマモードが設定されていると判断された場合には、ステップS52でパノラマモードのファイル名を付与する。左から2文字は“ST”、左から3文字目には、アルファベットの文字を一字ずつ“A”、“B”、“C”…と順番に要素に持つ配列AB〔〕から、AB〔STNo〕を抽出して、与える。次の5文字は、currFileNoの5桁の数字で、見やすいように、5桁目が“0”の場合は“-”に置き換える。拡張子は“.JPG”をつける。

【0092】次に、ステップS53では、組内番号STNoを、1を加えた値に変更する。次に、ステップS54では、ファイル番号currFileNoを、1を加えた値に変更する。

【0093】また、ステップS51でパノラマモードでなく、通常撮影モードが設定されていると判断された場合、ステップS55で通常撮影モードのファイル名を与える。左から3文字は“IMG”、次の5文字は、currFileNoの5桁の数字で、見やすいように、5桁目が“0”の場合は“-”に置き換える。拡張子は“.JPG”。次にステップS54に進む。

【0094】ここでは、一枚の撮影毎にこのフローの処理が行われるので、ファイル名のアルファベットの順番とファイル番号の順番は、撮影の順番であり、また、データを保存する順番となる。

【0095】ファイル名の頭が“STA”であると画像の組の頭のファイルであり、以後ファイル番号順に、次のファイル名の頭が“STA”または“IMG”となる手前までが一組の画像であることがファイル名から判断できる。

【0096】以上説明したように、本実施形態によれば、複数のデータが一組となっているような場合に、組を構成することを示す文字、他の組とは区別する文字、ファイル番号を示す文字をファイル名に含ませることによって、ファイル名だけから、組に属するか否か、データ生成、保存の順番等が判断でき、使用者がデータの整理をする場合や、パーソナルコンピュータ上のプログラムで整理、処理する時に迅速に対応出来る。

【0097】(第2の実施形態)第2の実施形態を図6

から図8に示す。

【0098】第1の実施形態と同様の部分は説明を省く。

【0099】図6はファイル名を示す図である。ファイル名の頭の3文字は、単独撮影の場合は“IMG”、パノラマ撮影の場合は頭の2文字を“PN”、それに続く1文字は、撮影の順番に、組が現れる毎に“A”、“B”、“C”、“D”、と続き“Z”までくると再び“A”からくりかえす文字で構成する。次の5文字はファイル番号である。

【0100】図7は、図6に対応したパノラマ画像の構成を示す。

【0101】図8は第2の実施形態のファイル名を付与するときのフローチャート図である。

【0102】ファイル番号currFileNoは、カメラ出荷時に“1”にセットされており、また同時に、パノラマ番号PNNoが“1”にセットされる。撮影の前には、モードダイヤルと細部設定ボタンで撮影モードと細部の設定が指示されている。

【0103】パノラマモードで、2×2モード、横一列モード、縦一列モードのいずれかが選択される。リリースボタン102で撮影の後、画像処理を行い、保存データが確定した後、このフローに従ってファイル名を定めて画像データを記録媒体に保存する。

【0104】以下、フローチャートに従って説明する。

【0105】ステップS81で、現在のモードがパノラマモードに設定されているか否かが判断される。ステップS81でパノラマモードが設定されていると判断された場合には、ステップS82でパノラマモードのファイル名を付与する。左から2文字は“PN”、左から3文字目には、アルファベットの文字を一文字ずつ“A”、“B”、“C”…と順番に要素に持つ配列AB〔〕から、AB〔PNNo〕を抽出して、与える。次の5文字は、currFileNoの5桁の数字である。

【0106】次に、ステップS83では、ファイル番号currFileNoを、1を加えた値に変更する。

【0107】また、ステップS81でパノラマモードでなく、通常撮影モードが設定されていると判断された場合、第1の実施形態と同様に、ステップS84で通常撮影モードのファイル名を与える。そしてステップS83に進む。パノラマ画像の一組の撮影が終了したときには、206のセットボタンが押され、組の撮影の終了が指示される。このときに、パノラマ番号PNNoを、1を加えた値に変更する（図示せず）。

【0108】ファイル名の頭が“PN”であると画像の組に含まれるファイルであり、以後ファイル番号順に、ファイル名の3文字目が同じ文字のファイルが一組の画像であることがファイル名から判断できる。

【0109】（第3の実施形態）第3の実施例を図9から図11に示す。

【0110】第1の実施形態と同様の部分は説明を省く。

【0111】図9はファイル名を示す図である。ファイル名の頭の3文字は、単独撮影の場合は“IMG”、パノラマ撮影の場合は頭の1文字を撮影の順番に組が現れる毎に“P”、“Q”、“P”、“Q”、と繰り返す組分文字で、次の2文字は、パノラマ画像を構成する位置を示す。列と行を表す数字で、左上を“0”列“0”行として表している。次の5文字はファイル番号である。

【0112】図10は、図9に対応したパノラマ画像の構成を示す。

【0113】図11は第3の実施形態のファイル名を付与するときのフローチャート図である。ファイル番号currFileNoは、カメラ出荷時に“1”にセットされており、同時に組分文字が“P”にセットされている。撮影の前には、モードダイヤルと細部設定ボタンで撮影モードと細部の設定が指示されている。パノラマモードで、2×2モード、横一列モード、縦一列モードのいずれかが選択され、撮影時には、ユーザーインターフェースの処理プログラムによって、これから撮影する画像が、パノラマのどの位置を構成するかの情報がファインダー103内あるいは電子ビューファインダー105に表示される。リリースボタン102で撮影の後、画像処理を行い、保存データが確定した後、このフローに従ってファイル名を定めて画像データを記録媒体に保存する。

【0114】以下、フローチャートに従って説明する。

【0115】ステップS111では、現在のモードがパノラマモードであるか否かが判断される。ステップS111でパノラマモードが設定されていると判断された場合には、ステップS112では、パノラマ画像の構成位置の情報をユーザーインターフェースの処理のメモリから取得する。

【0116】次に、ステップS113でファイル名を付与する。左端の文字を組分文字、左から二番目の文字は、パノラマ画像の何列目かを示す数字、左から三番目の文字は、パノラマ画像の何行めかを示す数字で、パノラマの左上端の画像を0列0行としている。次の5文字はファイル番号である。ステップS114、S115、S116で、組分文字が“P”、“Q”交互に現れるように設定し、ステップS117でファイル番号currFileNoを、1を加えた値に変更する。

【0117】また、ステップS111で通常撮影モードであると判断された場合には、ステップS118で第1の実施形態と同じ処理をする。

【0118】ファイル名の頭が“P”または“Q”のファイルが組に含まれる画像ファイルであり、ファイル番号順に並べて、“P”が並んでいるものが一組のパノラマ画像、または“Q”が並んでいるものが一組のパノラマ画像と判断出来る。

【0119】また、一組の画像から、ファイル名の2文

字目、3文字目からパノラマ画像を構成する位置が解る。

【0120】(第4の実施形態)第4の実施形態を図12から図14に示す。

【0121】第1の実施例と同様の部分は説明を省く。

【0122】図12はファイル名を示す図である。ファイル名の頭の3文字は、単独撮影の場合は“IMA”、パノラマ撮影の場合も、一枚目の画像は“IMA”で、二枚目以降は、順番に“IMB”、“IMC”、“IMD”、…とする。26枚を超える画像は受け付けない。次の5文字はファイル番号である。

【0123】図13は、図12に対応したパノラマ画像の構成を示す。

【0124】図14は第4の実施形態のファイル名を付与するときのフローチャート図である。ファイル番号currFileNoは、カメラ出荷時に“1”にセットされている。撮影の前には、モードダイヤルと細部設定ボタンで撮影モードと細部の設定が指示されている。パノラマモードで、2×2モード、横一列モード、縦一列モードのいずれかが選択される時に、GRNoを“1”にセットする(図示せず)。リリースボタン102で撮影の後、画像処理を行い、保存データが確定した後、このフローに従ってファイル名を定めて画像データを記録媒体に保存する。

【0125】以下、フローチャートに従って説明する。

【0126】ステップS141で、現在の撮影モードがパノラマモードであるか否かが判断される。ステップS141でパノラマモードであると判断された場合には、ステップS142では、その時に設定されているGRNoに従って、ファイル名を定める。ファイル名の頭の2文字は、“IM”、次の文字は、アルファベットの文字を一文ずつ“A”、“B”、“C”…と順番に要素に持つ配列AB〔〕から、AB〔GRNo〕を抽出して与える。次の5文字はファイル番号である。

【0127】次に、ステップS143でGRNoを、1を加えた値に変更し、ステップS144でファイル番号currFileNoを、1を加えた値に変更する。

【0128】また、ステップS141で通常撮影モードであると判断された場合には、ステップS145でGRNoを“1”としてファイル名を定める。

【0129】ファイル名の頭が“IMA”のファイル名だけでは、組に含まれるか否かは判断できないが、ファイル番号順にならべると、以後に“IMB”が続くか否かで、パノラマ画像の一部を構成するかどうか判断できる。

【0130】以上の実施形態では、パノラマ撮影を例に挙げて説明したが、複数の画像を組として扱う場合には同様なファイル名の設定が出来る。

【0131】例えば、連続写真でも同様なファイル名を付けることができる。また、上記実施形態では、一枚の

画像の撮影毎にファイル名を付与して記録媒体に保存したために、ファイル番号の順番が撮影の順番であり、かつ保存の順番となったが、複数の画像を一度バッファメモリに保存しておいて、その後、記録媒体に保存する時に、記録位置の順番にファイル番号や組内の順番の文字を取得することもできる。

【0132】また、上記実施形態では、組内の順番の文字や、組毎の順番の文字をアルファベットで示したが、桁数を上げて文字列としたり、数字や数字と英字との組み合わせ、更には2バイトコードの文字でファイル名を表記することもできる。

【0133】上記実施形態においては、プログラムをROMに保持する場合について説明したが、これに限定されるものではなく、任意の記憶媒体を用いて実現してもよい。また、同様の動作をする回路で実現してもよい。

【0134】なお、本発明は、複数の機器から構成されるシステムに適用しても、1つの機器からなる装置に適用してもよい。前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記録媒体を、システム或いは装置に供給し、そのシステム或いは装置のコンピュータ(またはCPUやMPU)が記録媒体に格納されたプログラムコードを読み出し実行することによっても、達成されることは言うまでもない。この場合、記録媒体から読み出されたプログラムコード自体が前述した実施形態の機能を実現することになり、そのプログラムコードを記録した記録媒体は本発明を構成することになる。

【0135】プログラムコードを供給するための記録媒体としては、例えば、フロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、CD-R、磁気テープ、不揮発性のメモ리카ード、ROMなどを用いることができる。

【0136】また、コンピュータが読み出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼働しているOSなどが実際の処理の一部または全部を行ない、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0137】更に、記録媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書き込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPUなどが実際の処理の一部または全部を行ない、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0138】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、複数のデータが一組となるような場合に、組を構成するこ

とを示す文字、他の組とは区別する文字、ファイル番号を示す文字をファイル名に含ませることによって、ファイル名だけから、組に属するか否か、データ生成、保存の順番等が判断でき、使用者がデータの整理をする場合や、パーソナルコンピュータ上のプログラムで整理、処理する時に迅速に対応出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】デジタルカメラの操作部と表示部を示す図である。
 【図2】デジタルカメラのLCD表示の例を示す図である。
 【図3】第1の実施形態のファイル名を示す図である。
 【図4】第1の実施形態のパノラマ画像の構成を示す図である。
 【図5】第1の実施形態のファイル名生成のフローチャート図である。
 【図6】第2の実施形態のファイル名を示す図である。
 【図7】第2の実施形態のパノラマ画像の構成を示す図である。
 【図8】第2の実施形態のファイル名生成のフローチャート図である。
 【図9】第3の実施形態のファイル名を示す図である。
 【図10】第3の実施形態のパノラマ画像の構成を示す図である。
 【図11】第3の実施形態のファイル名生成のフローチャート図である。
 【図12】第4の実施形態のファイル名を示す図であ

る。

【図13】第4の実施形態のパノラマ画像の構成を示す図である。

【図14】第4の実施形態のファイル名生成のフローチャート図である。

【図15】従来例のファイル名を示す図である。

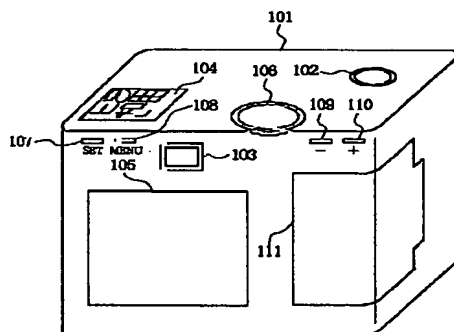
【図16】従来例のパノラマ画像の構成を示す図である。

【図17】本発明の実施形態の構成を示す図である。

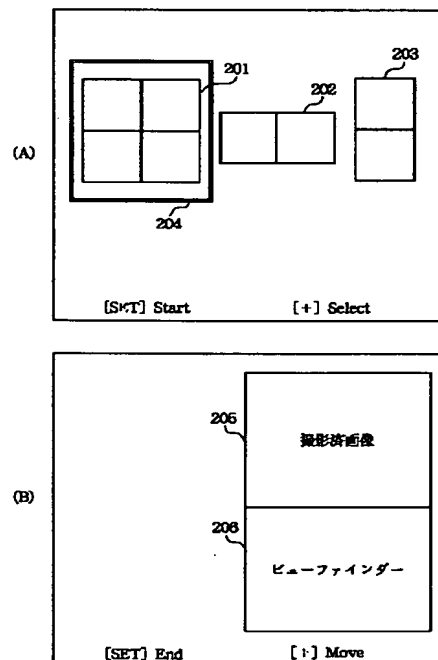
【符号の説明】

101 デジタルカメラ本体
 102 レリーズボタン
 103 光学ファインダー
 104 サブLCD
 105 電子ビューファインダーLCD
 106 モードダイヤル
 107 細部設定ボタン
 108 細部設定ボタン
 109 細部設定ボタン
 110 細部設定ボタン
 111 記録媒体収納部蓋
 201 2×2モード選択アイコン
 202 横一列モード選択アイコン
 203 縦一列モード選択アイコン
 204 選択カーソル
 205 撮影済画像表示画面
 206 電子ビューファインダー表示画面

【図1】



【図2】



【図3】

ディレクトリ名	ファイル名	組	位置
CTG_0068.CTG			
		
	IMG_3432.JPG	単	
	IMG_3433.JPG	単	
	IMG_3434.JPG	単	
	STA_3435.JPG	1	右上
	STR_3436.JPG	1	右下
	STC_3437.JPG	1	左下
	STD_3438.JPG	1	左上
	IMG_3439.JPG	単	
	IMG_3440.JPG	単	
	STA_3441.JPG	2	左端
	STR_3442.JPG	2	左から2番目
	STA_3443.JPG	8	右端
	STR_3444.JPG	8	右から2番目
	STC_3445.JPG	8	右から3番目
	IMG_3446.JPG	単	
	IMG_3447.JPG	単	
	IMG_3448.JPG	単	
	IMG_3449.JPG	単	
	STA_3450.JPG	4	上端
CTG_0069.CTG			
	STR_3451.JPG	4	上から2番目
	IMG_3452.JPG	単	
	IMG_3453.JPG	単	
	IMG_3454.JPG	単	
	IMG_3455.JPG	単	
		

【図4】

(A)	STD_3438.JPG	STA_3435.JPG	(A)	PNA_3538.JPG	PNA_3535.JPG
	STC_3437.JPG	STR_3436.JPG		PNA_3537.JPG	PNA_3536.JPG

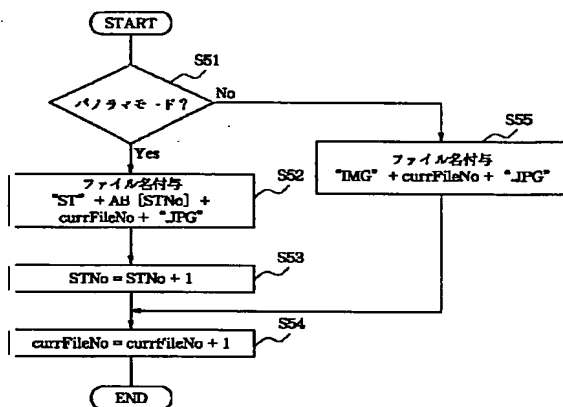
(B)	STA_3441.JPG	STR_3442.JPG	(B)	PNB_3541.JPG	PNB_3542.JPG
-----	--------------	--------------	-----	--------------	--------------

(C)	STC_3445.JPG	STR_3444.JPG	STA_3443.JPG	(C)	PNC_3545.JPG	PNC_3544.JPG	PNC_3543.JPG
-----	--------------	--------------	--------------	-----	--------------	--------------	--------------

(D)	STA_3450.JPG	(D)	PND_3550.JPG
	STR_3451.JPG		PND_3551.JPG

【図7】

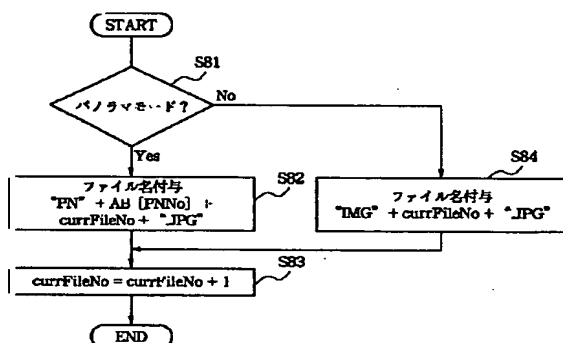
【図5】



【図6】

ディレクトリ名	ファイル名	組	位置
CTG_0070.CTG			
		
	IMG_3532.JPG	単	
	IMG_3533.JPG	単	
	IMG_3534.JPG	単	
	PNA_3535.JPG	1	右上
	PNA_3536.JPG	1	右下
	PNA_3537.JPG	1	左下
	PNA_3538.JPG	1	左上
	IMG_3539.JPG	単	
	IMG_3540.JPG	単	
	PNB_3541.JPG	2	左端
	PNB_3542.JPG	2	左から2番目
	PNC_3543.JPG	3	右端
	PNC_3544.JPG	3	右から2番目
	PNC_3545.JPG	8	右から3番目
	IMG_3546.JPG	単	
	IMG_3547.JPG	単	
	IMG_3548.JPG	単	
	IMG_3549.JPG	単	
	PND_3550.JPG	4	上端
CTG_0071.CTG			
	PND_3551.JPG	4	上から2番目
	IMG_3552.JPG	単	
	IMG_3553.JPG	単	
	IMG_3554.JPG	単	
	IMG_3555.JPG	単	
		

【図8】



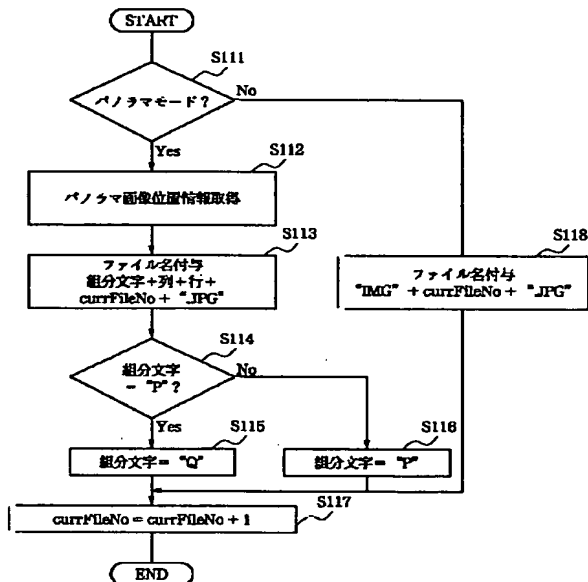
【図9】

ディレクトリ名	ファイル名	組	位置
CTG_0072.CTG			
		
	IMG_3632.JPG	単	
	IMG_3633.JPG	単	
	IMG_3634.JPG	単	
	P10_3635.JPG	1	右上
	P11_3636.JPG	1	右下
	P01_3637.JPG	1	左下
	P00_3638.JPG	1	左上
	IMG_3639.JPG	単	
	IMG_3640.JPG	単	
	Q00_3641.JPG	2	左端
	Q10_3642.JPG	2	左から2番目
	P20_3643.JPG	3	右端
	P10_3644.JPG	3	右から2番目
	P00_3645.JPG	3	右から3番目
	IMG_3646.JPG	単	
	IMG_3647.JPG	単	
	IMG_3648.JPG	単	
	IMG_3649.JPG	単	
	Q00_3650.JPG	4	上端
CTG_0073.CTG			
	Q01_3651.JPG	4	上から2番目
	IMG_3652.JPG	単	
	IMG_3653.JPG	単	
	IMG_3654.JPG	単	
	IMG_3655.JPG	単	
		

【図10】

(A)	<table border="1"><tr><td>P00_3638.JPG</td><td>P10_3635.JPG</td></tr><tr><td>P01_3637.JPG</td><td>P11_3636.JPG</td></tr></table>	P00_3638.JPG	P10_3635.JPG	P01_3637.JPG	P11_3636.JPG	(A)	<table border="1"><tr><td>DMD_3738.JPG</td><td>DMA_3735.JPG</td></tr><tr><td>DMC_3737.JPG</td><td>DMB_3736.JPG</td></tr></table>	DMD_3738.JPG	DMA_3735.JPG	DMC_3737.JPG	DMB_3736.JPG
P00_3638.JPG	P10_3635.JPG										
P01_3637.JPG	P11_3636.JPG										
DMD_3738.JPG	DMA_3735.JPG										
DMC_3737.JPG	DMB_3736.JPG										
(B)	<table border="1"><tr><td>Q00_3641.JPG</td><td>Q10_3642.JPG</td></tr></table>	Q00_3641.JPG	Q10_3642.JPG	(B)	<table border="1"><tr><td>DMA_3741.JPG</td><td>DMB_3742.JPG</td></tr></table>	DMA_3741.JPG	DMB_3742.JPG				
Q00_3641.JPG	Q10_3642.JPG										
DMA_3741.JPG	DMB_3742.JPG										
(C)	<table border="1"><tr><td>P00_3645.JPG</td><td>P10_3644.JPG</td><td>P20_3643.JPG</td></tr></table>	P00_3645.JPG	P10_3644.JPG	P20_3643.JPG	(C)	<table border="1"><tr><td>DMC_3745.JPG</td><td>DMB_3744.JPG</td><td>DMA_3743.JPG</td></tr></table>	DMC_3745.JPG	DMB_3744.JPG	DMA_3743.JPG		
P00_3645.JPG	P10_3644.JPG	P20_3643.JPG									
DMC_3745.JPG	DMB_3744.JPG	DMA_3743.JPG									
(D)	<table border="1"><tr><td>Q00_3650.JPG</td></tr><tr><td>Q01_3651.JPG</td></tr></table>	Q00_3650.JPG	Q01_3651.JPG	(D)	<table border="1"><tr><td>DMA_3750.JPG</td></tr><tr><td>DMB_3751.JPG</td></tr></table>	DMA_3750.JPG	DMB_3751.JPG				
Q00_3650.JPG											
Q01_3651.JPG											
DMA_3750.JPG											
DMB_3751.JPG											

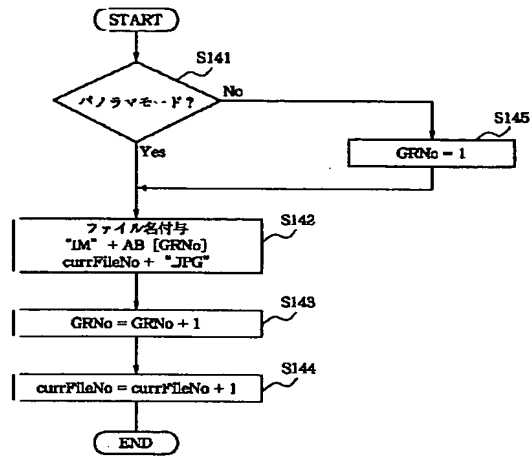
【図11】



【図12】

ディレクトリ名	ファイル名	組	位置
CTG_0074.CTG			
		
	DMA_3732.JPG	単	
	DMA_3733.JPG	単	
	DMA_3734.JPG	単	
	DMA_3735.JPG	1	右上
	DMB_3736.JPG	1	右下
	DMC_3737.JPG	1	左下
	DMD_3738.JPG	1	左上
	DMA_3739.JPG	単	
	DMA_3740.JPG	単	
	DMA_3741.JPG	2	左端
	DMB_3742.JPG	2	左から2番目
	DMA_3743.JPG	3	右端
	DMB_3744.JPG	3	右から2番目
	DMC_3745.JPG	3	右から3番目
	DMA_3746.JPG	単	
	DMA_3747.JPG	単	
	DMA_3748.JPG	単	
	DMA_3749.JPG	単	
	DMA_3750.JPG	4	上端
CTG_0075.CTG			
	DMB_3751.JPG	4	上から2番目
	DMA_3752.JPG	単	
	DMA_3753.JPG	単	
	DMA_3754.JPG	単	
	DMA_3755.JPG	単	
		

【図14】



【図15】

ディレクトリ名	ファイル名	組	位置
CTG_0088.CTG		
	IMG_3332.JPG	単	
	IMG_3333.JPG	単	
	IMG_3334.JPG	単	
	IMG_3335.JPG	1	右上
	IMG_3336.JPG	1	右下
	IMG_3337.JPG	1	左下
	IMG_3338.JPG	1	左上
	IMG_3339.JPG	単	
	IMG_3340.JPG	単	
	IMG_3341.JPG	2	左端
	IMG_3342.JPG	2	左から2番目
	IMG_3343.JPG	3	右端
	IMG_3344.JPG	3	右から2番目
	IMG_3345.JPG	8	右から3番目
	IMG_3346.JPG	単	
	IMG_3347.JPG	単	
	IMG_3348.JPG	単	
	IMG_3349.JPG	単	
	IMG_3350.JPG	4	上端
CTG_0087.CTG			
	IMG_3351.JPG	4	上から2番目
	IMG_3352.JPG	単	
	IMG_3353.JPG	単	
	IMG_3354.JPG	単	
	IMG_3355.JPG	単	
		

【図16】

- (A)
- | | |
|--------------|--------------|
| IMG_3338.JPG | IMG_3335.JPG |
| IMG_3337.JPG | IMG_3336.JPG |
- (B)
- | | |
|--------------|--------------|
| IMG_3341.JPG | IMG_3342.JPG |
|--------------|--------------|
- (C)
- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| IMG_3345.JPG | IMG_3344.JPG | IMG_3343.JPG |
|--------------|--------------|--------------|
- (D)
- | |
|--------------|
| IMG_3350.JPG |
| IMG_3351.JPG |

【図17】

